

聲曲類纂

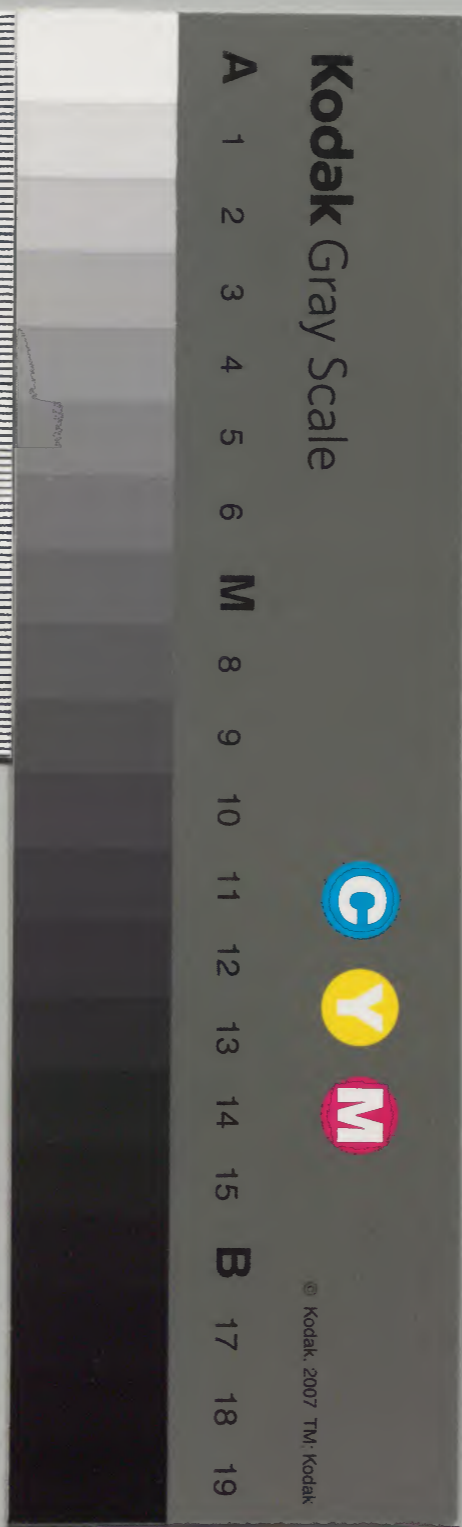
二

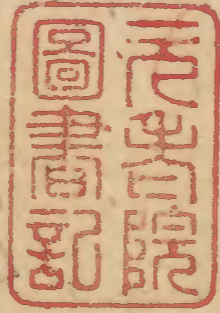
浪速竹亭豊行畧傳
 函座作者名譜
 同淨瑠璃外類
 三都探座淨瑠璃
 外題略記

和書門類		九二四三號	二〇〇函	一四架	六冊
------	--	-------	------	-----	----

庫文閣内	和
九九函	九二四三
一四架	一六三

内閣文庫	
番號	和 9243
冊數	6 (3)
函號	199 238





聲曲類集卷之貳

目錄

竹本篁後少振

竹本篁後少振門人里系竹本海留傳抄書

市本洋留傳目錄

市本洋留傳目錄門人里系竹本海留傳抄書

豊竹越前少振

豊竹越前少振門人里系竹本海留傳抄書

豊竹在洋留傳目錄

豊竹肥前振

同洋留傳目錄

竹本喜世少振

竹本喜世少振門人里系竹本海留傳抄書

竹本伊勢少振

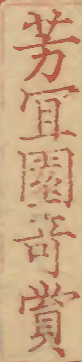
竹本伊勢少振門人里系竹本海留傳抄書

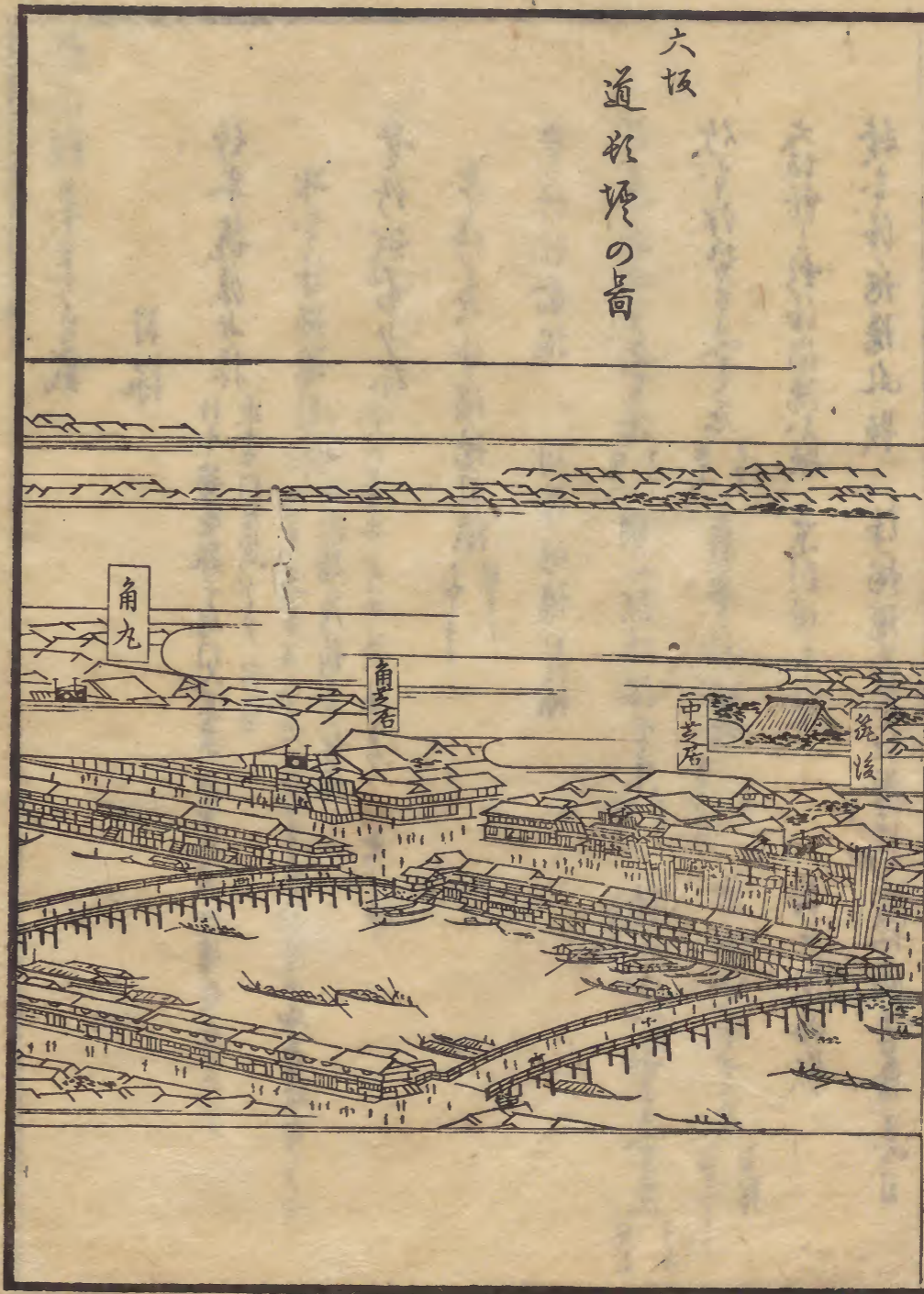
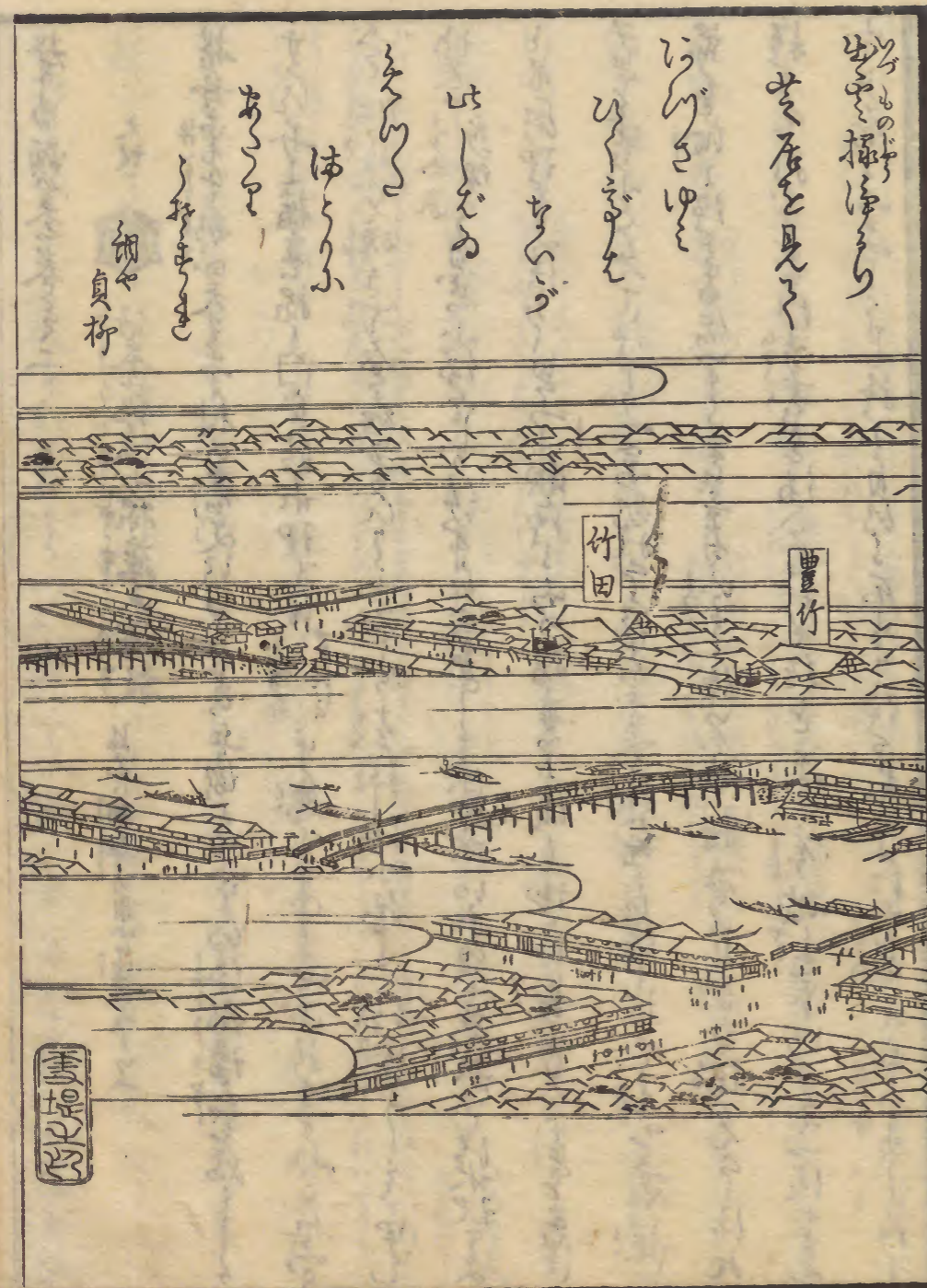
大坂新編洋留傳不歌

大坂新編洋留傳不歌京歌同不歌

續本洋留傳外歌

續本洋留傳外歌江戶同外歌





聲曲類集卷之二

大坂



竹本篁後少探藤永博教

徳小鞠藤の自少藤の丸

楷舟東の舟の四天王寺村の農文に... 竹本篁後少探藤永博教... 徳小鞠藤の自少藤の丸... 竹本篁後少探藤永博教... 徳小鞠藤の自少藤の丸...

竹本篁後少探藤永博教... 徳小鞠藤の自少藤の丸... 竹本篁後少探藤永博教... 徳小鞠藤の自少藤の丸... 竹本篁後少探藤永博教... 徳小鞠藤の自少藤の丸...

むとく人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり

まゆらるる蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり

蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり

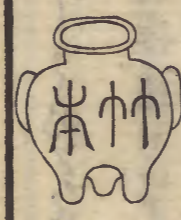
蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり

大坂の御所 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり 蘇我振起るもたのち人なり

播磨の地を治む者少くして一應あはれりて播磨の地は少くして一郡ありては

又新撰播磨郡志に云く播磨の地は少くして一郡ありては播磨の地は少くして一郡ありては

播磨の地は少くして一郡ありては播磨の地は少くして一郡ありては播磨の地は少くして一郡ありては



二ノ七

之祖 竹本籠後少掾

竹本心若少史 此一派を所載を極む是凡

同頼母太史 大板形町住

陸奥茂太史

竹本和泉太史 是志海をりて是

陸奥茂太史 此一派を所載を極む是凡
竹本伊太史 此一派を所載を極む是凡
陸奥茂太史 此一派を所載を極む是凡

竹本播磨少掾 此一派を所載を極む是凡

播磨門番 此一派を所載を極む是凡

竹本大和太史 此一派を所載を極む是凡

竹本大和少掾 此一派を所載を極む是凡

此一派を所載を極む是凡

竹本河内太史 此一派を所載を極む是凡

竹本春太史 此一派を所載を極む是凡

睡餘小録不載

月峯縮模



近松門左衛門の像



此紙ハ建仁寺

松原中谷氏の巻

さかきざりり

二ノ二

より或る條の古きものありて此紙ハ
法をいへる條ありてし

アコノ條は京都万々
加ふる條は攝津府ありてし

庚午二月末に於ては此紙ハ
よきし

よきし

よきし

よきし

よきし

よきし

よきし

よきし

よきし

寂光のちやこちと行てくくねと度ふ徳の浄くもさく
其の浄くもさくは

浄くもさくは
浄くもさくは

文科堂 初名 松田和吉 吉田村小 近松寺
浄くもさくは

二条寺 浄田可也 中村洞舟 八民寺 栄寺 北宮院
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺 浄田寺 浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

小川寺 近松寺 浄田寺 浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 北照寺 一寺 浄田寺 浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 青江寺 系羽家 浄田寺 浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

浄田寺 浄田寺
浄くもさくは

常林中記 同四月
夜道若草 同六月
好酒と市小接感 之條十七年

彩板腰被伏 同四月
板屋の日記 同六月
百日子紙 同四月

小折道日記 同六月
板屋の日記 同六月
浦島太郎伝 同六月

海邊遺蹟 同六月
浦島太郎伝 同六月
因幡若作伝 同六月

長町女腰切 同六月
神代葉万石 同六月
二版長中と巻 同六月

輝丸 同六月
大掛お十幅封 同六月
傾城八花形 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

日本王代記 同六月
若松夢之申 同六月
傾城返魂香 同六月

存物平太 同六月
用明を破入道 同六月
源氏経傳茶經 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

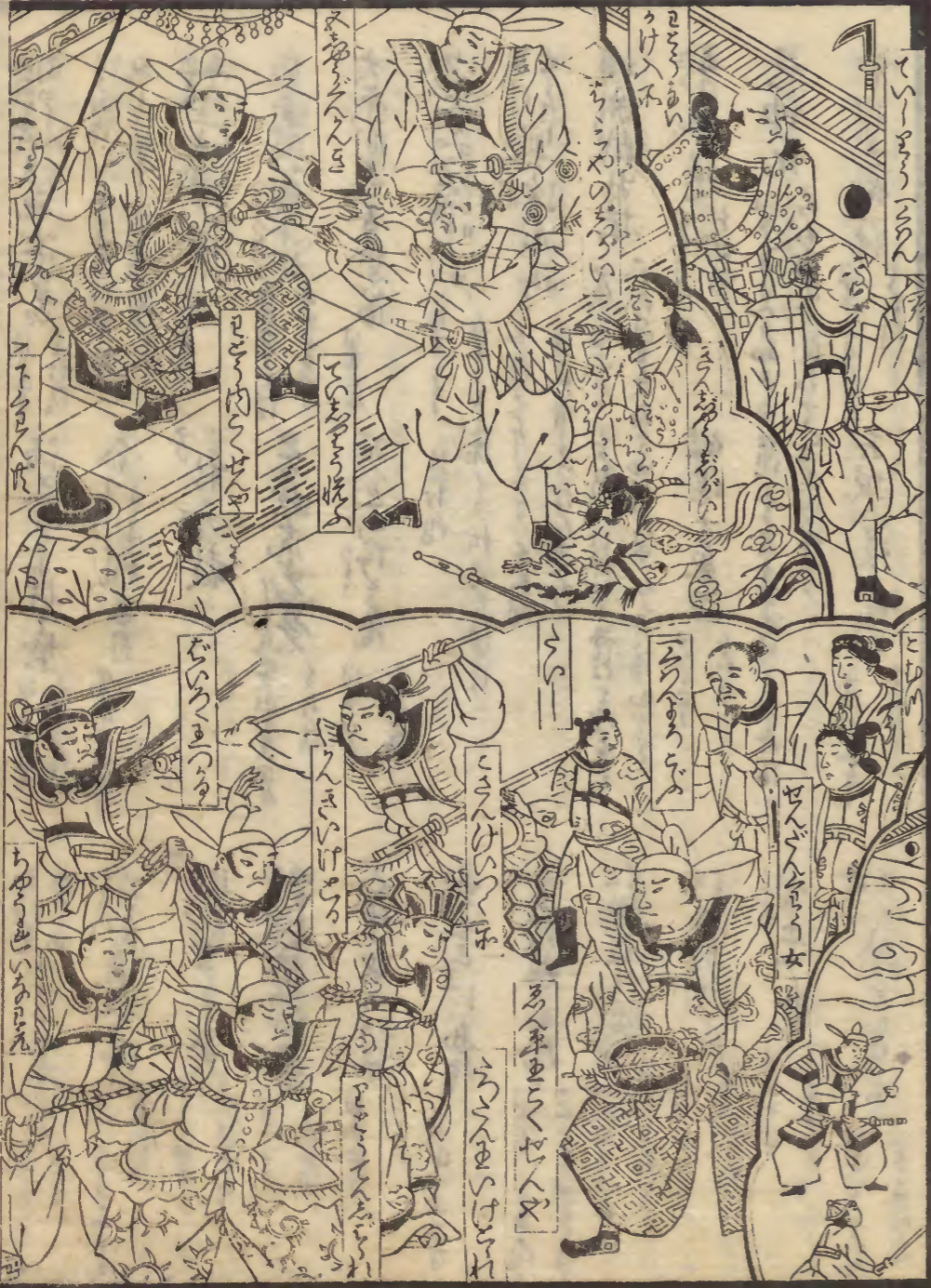
切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月

切 同六月
切 同六月
切 同六月



一の徳五
 年五月
 國姓爺
 舟の格
 画なり
 二束田
 舟を
 去る
 板や
 下



二ノ十

日本文武の事蹟 同月 〇〇〇〇

女殺油地獄 同月 〇〇〇〇

舟中骨原申 同月 〇〇〇〇

海神 同月 〇〇〇〇

大内表大友真直 同月 〇〇〇〇

伊勢平氏事 同月 〇〇〇〇

海軍 同月 〇〇〇〇

かかろ 同月 〇〇〇〇

...

...

...

肩ろろ 同月 〇〇〇〇

浦大船 同月 〇〇〇〇

須磨 同月 〇〇〇〇

鬼一法眼 同月 〇〇〇〇

檀浦 同月 〇〇〇〇

...

...

...

...

...

...

...

...

...

歌討禮禮帛 同書

猿丸本紀卷五 同書

新編櫻川存府 又新書 杉原信

去政入道兵庫押 同書 小島孝 牛田四郎

新編櫻川存府 又新書 杉原信

小栗判官車御道 同書 小島孝

今川旗指巻 又新書 杉原信

本日書光日本地 同書

将門野合 又新書 杉原信

伊豆野合 同書

伊豆野合 又新書 杉原信

新編櫻川存府 又新書 杉原信

新編櫻川存府 又新書 杉原信

丹舟斎子集 同書 小島孝

丹舟斎子集 又新書 杉原信

丹舟斎子集 同書 小島孝

丹舟斎子集 又新書 杉原信

丹舟斎子集 同書 小島孝

丹舟斎子集 又新書 杉原信

丹舟斎子集 同書 小島孝

丹舟斎子集 又新書 杉原信

丹舟斎子集 同書 小島孝

初編

初編

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

軍記

我淨千手樓 日有... 伍念... 定元辰月... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

源平... 日有... 抄...

古鏡場... 日有... 抄...

古鏡場... 日有... 抄...

古鏡場... 日有... 抄...

古鏡場... 日有... 抄...

古鏡場... 日有... 抄...

法皇 花京高都院 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

奥州安達天皇 日九月廿九日 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

山城園子高都院 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

大和府 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

傾城 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

山城園子高都院 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

奥州安達天皇 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

大和府 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

傾城 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

山城園子高都院 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

奥州安達天皇 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

四天王寺 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

初榑 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

石門 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

近江 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

初榑 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

近江 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

初榑 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

近江 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

初榑 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

近江 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

初榑 皇曆壬子年二月廿三日 乙未 二月廿三日 乙未

表三朝延之達（一） 日八日

相向くはえむ所況（二） 日八日
わゆりおしけしより雷を布衣代に集（三） 日八日

鎌方武士道（四） 日八日
刀不中を纏（五） 日八日

二十相力双鏡（六） 日八日
後者評判身振標（七） 日八日

目末次竹取物語（八） 日八日
子ノ舞（九） 日八日

お徳新板お徳又（十） 日八日
お徳（十一） 日八日

お徳（十二） 日八日
お徳（十三） 日八日

本年（十四） 日八日
と第一休（十五） 日八日

小田南（十六） 日八日
明葉（十七） 日八日

性根（十八） 日八日
東海道七里（十九） 日八日

夢死地男（二十） 日八日
徳馬安之（二十一） 日八日

時心（二十二） 日八日
時心（二十三） 日八日

時心（二十四） 日八日
時心（二十五） 日八日

時心（二十六） 日八日
時心（二十七） 日八日

大坂



豊竹被前（一） 日八日

梁塵軒（二） 日八日

大坂南和陽の唐よりか年の以り洋場を好む市中海邊採小舟十八方の長は
お徳新板お徳又（三） 日八日

お徳（四） 日八日
お徳（五） 日八日

お徳（六） 日八日
お徳（七） 日八日

お徳（八） 日八日
お徳（九） 日八日

お徳（十） 日八日
お徳（十一） 日八日

元祖
豊行 蔵下 振下 振下 振下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下

豊行 蔵下 振下
豊行 蔵下 振下
豊行 蔵下 振下
豊行 蔵下 振下
豊行 蔵下 振下

此の門を越すと此の門を越すと

紙本 振下

豊行 蔵下 振下

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

豊行 蔵下 振下

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと
此の門を越すと此の門を越すと

北國海軍の戦況 日十月

平安城の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

切形氏の戦況 日十月

切形氏の戦況 日十月

須藤氏の戦況 日十月

須藤氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

三浦重光の戦況 日十月

伏見宮の戦況 日十月

大友氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

三浦重光の戦況 日十月

伏見宮の戦況 日十月

大友氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

赤松氏の戦況 日十月

あ、右に交豊竹止珍白也
とあり



二川服帯
初夜
かちあてへ
かちあてへ
かちあてへ
かちあてへ



二、二十

梧は長柄人柱

日八月 宇治 抄文伝 入幕之儀の人形とてゆへにハキテの人形
ついでとて初めは初めとて思はれし初めとて思はれし初めとて思はれし初めとて思はれし
抄文伝 宇治 申二月

南都十之鏡

日八月 宇治 抄文伝
南都十之鏡 宇治 抄文伝

木胡檀抄

日八月 宇治 抄文伝
木胡檀抄 宇治 抄文伝

和歌園

日八月 宇治 抄文伝
和歌園 宇治 抄文伝

今様返魂香

日八月 宇治 抄文伝
今様返魂香 宇治 抄文伝

三丁將軍二代抄

日八月 宇治 抄文伝
三丁將軍二代抄 宇治 抄文伝

後二年奥州軍記

日八月 宇治 抄文伝
後二年奥州軍記 宇治 抄文伝

蒲田有者之合戦

日八月 宇治 抄文伝
蒲田有者之合戦 宇治 抄文伝

横心將軍傳記

日八月 宇治 抄文伝
横心將軍傳記 宇治 抄文伝

源氏七代集

日八月 宇治 抄文伝
源氏七代集 宇治 抄文伝

海香集

日八月 宇治 抄文伝
海香集 宇治 抄文伝

赤沼山陰傳記

日八月 宇治 抄文伝
赤沼山陰傳記 宇治 抄文伝

八百屋村之延廻

日八月 宇治 抄文伝
八百屋村之延廻 宇治 抄文伝

海平傳記

日八月 宇治 抄文伝
海平傳記 宇治 抄文伝

吉野忠伝

日八月 宇治 抄文伝
吉野忠伝 宇治 抄文伝

おふ 初天神記

日八月 宇治 抄文伝
おふ 初天神記 宇治 抄文伝

鎌倉行事

日八月 宇治 抄文伝
鎌倉行事 宇治 抄文伝

切書金銀冊

日八月 宇治 抄文伝
切書金銀冊 宇治 抄文伝

芳我昔身集

日八月 宇治 抄文伝
芳我昔身集 宇治 抄文伝

南雲法王の目録

日八月 宇治 抄文伝
南雲法王の目録 宇治 抄文伝

女信玄の神傳

日八月 宇治 抄文伝
女信玄の神傳 宇治 抄文伝

宇治原形中

日八月 宇治 抄文伝
宇治原形中 宇治 抄文伝

奥州赤松

日八月 宇治 抄文伝
奥州赤松 宇治 抄文伝

新出神持

日八月 宇治 抄文伝
新出神持 宇治 抄文伝

兼光の昔妻傳記

日八月 宇治 抄文伝
兼光の昔妻傳記 宇治 抄文伝

那須守重傳記

日八月 宇治 抄文伝
那須守重傳記 宇治 抄文伝

万葉歌六代全

日八月 宇治 抄文伝
万葉歌六代全 宇治 抄文伝

和田合戦女流傳記

日八月 宇治 抄文伝
和田合戦女流傳記 宇治 抄文伝

金淵双紙

日八月 宇治 抄文伝
金淵双紙 宇治 抄文伝

丹中守重傳記

日八月 宇治 抄文伝
丹中守重傳記 宇治 抄文伝

横心忠貞傳記

日八月 宇治 抄文伝
横心忠貞傳記 宇治 抄文伝

本田長光傳記

日八月 宇治 抄文伝
本田長光傳記 宇治 抄文伝

武田天皇御 日二月一十日 御記 武田天皇御記 武田天皇御記

青梅標合御記 日二月一十日 御記 青梅標合御記 青梅標合御記

田村實隆御記 日二月一十日 御記 田村實隆御記 田村實隆御記

道成寺現世御記 日二月一十日 御記 道成寺現世御記 道成寺現世御記

風俗之御記 日二月一十日 御記 風俗之御記 風俗之御記

折本紀信御記 日二月一十日 御記 折本紀信御記 折本紀信御記

浦之御記 日二月一十日 御記 浦之御記 浦之御記

浦之御記 日二月一十日 御記 浦之御記 浦之御記

浦之御記 日二月一十日 御記 浦之御記 浦之御記

浦之御記 日二月一十日 御記 浦之御記 浦之御記

浦之御記 日二月一十日 御記 浦之御記 浦之御記

花袋者流御記 日二月一十日 御記 花袋者流御記 花袋者流御記

万戸の軍記御記 日二月一十日 御記 万戸の軍記御記 万戸の軍記御記

東鑑御記 日二月一十日 御記 東鑑御記 東鑑御記

八重出御記 日二月一十日 御記 八重出御記 八重出御記

修光御記 日二月一十日 御記 修光御記 修光御記

十帖御記 日二月一十日 御記 十帖御記 十帖御記

切進御記 日二月一十日 御記 切進御記 切進御記

新七夜御記 日二月一十日 御記 新七夜御記 新七夜御記

流石御記 日二月一十日 御記 流石御記 流石御記

流石御記 日二月一十日 御記 流石御記 流石御記

流石御記 日二月一十日 御記 流石御記 流石御記

一各城軍記 此書は元禄五年六月に記され、東海地方の戦いに関するものである。...

後醍醐天皇御記 此書は徳治元年（1311）に記され、後醍醐天皇の御事に関するものである。...

相馬忠房公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、相馬忠房の伝記である。...

天竺山守之助公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、天竺山守之助の伝記である。...

三國小治政略 此書は元禄五年（1698）に記され、三國の政治に関するものである。...

義仲熱心記 此書は元禄五年（1698）に記され、義仲の熱心に関するものである。...

甲斐源氏傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、甲斐源氏の傳記である。...

茶丸軍勢合戦 此書は元禄五年（1698）に記され、茶丸軍勢の合戦に関するものである。...

雑記九卷 此書は元禄五年（1698）に記され、雑記に関するものである。...

櫻姫殿傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、櫻姫殿の傳記である。...

人形屋殿傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、人形屋殿の傳記である。...

三好長政公傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、三好長政の傳記である。...

官軍一統志 此書は元禄五年（1698）に記され、官軍の一統志に関するものである。...

姫系譜八高日記 此書は元禄五年（1698）に記され、姫系の譜系に関するものである。...

式内御軍記 此書は元禄五年（1698）に記され、式内御軍の記に関するものである。...

此書は元禄五年（1698）に記され、東海地方の戦いに関するものである。...

先陣源氏傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、先陣源氏の傳記である。...

祇園寺九重御記 此書は元禄五年（1698）に記され、祇園寺九重の御事に関するものである。...

徳吉房公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、徳吉房の伝記である。...

岩城忠常公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、岩城忠常の伝記である。...

後醍醐天皇御記 此書は徳治元年（1311）に記され、後醍醐天皇の御事に関するものである。...

相馬忠房公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、相馬忠房の伝記である。...

天竺山守之助公伝記 此書は元禄五年（1698）に記され、天竺山守之助の伝記である。...

三國小治政略 此書は元禄五年（1698）に記され、三國の政治に関するものである。...

義仲熱心記 此書は元禄五年（1698）に記され、義仲の熱心に関するものである。...

甲斐源氏傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、甲斐源氏の傳記である。...

茶丸軍勢合戦 此書は元禄五年（1698）に記され、茶丸軍勢の合戦に関するものである。...

雑記九卷 此書は元禄五年（1698）に記され、雑記に関するものである。...

櫻姫殿傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、櫻姫殿の傳記である。...

人形屋殿傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、人形屋殿の傳記である。...

三好長政公傳記 此書は元禄五年（1698）に記され、三好長政の傳記である。...

官軍一統志 此書は元禄五年（1698）に記され、官軍の一統志に関するものである。...

姫系譜八高日記 此書は元禄五年（1698）に記され、姫系の譜系に関するものである。...

式内御軍記 此書は元禄五年（1698）に記され、式内御軍の記に関するものである。...

早之概已掃世

此書十七卷史記卷之七十四也

香取祖 源氏物語 元慶梅 國有少康...

鳴呼若長梅氏 日十月

信回妻 小野 梅 中...

梅 日十月

梅 日十月

梅 日十月

日...

豊行 肥前 梅...

早之概 梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

梅...

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

山崎浄瑠璃御流の事

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

の如く其の如く 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

唐令成徳内東院 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

女舞御の葉 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

竹葉の葉 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

男を左様とす

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

宗羽二年 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

明和二年 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

忠孝大様通 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

四天寺僧人様 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史 隆竹の泉吉史

倭次月見の松 日見の松 日見の松

之園之友松花状 日見の松 日見の松

長島桂川連理柵 日見の松 日見の松

増上寺松花文状 日見の松 日見の松

墨江寺松花文状 日見の松 日見の松

女小寺平儀見書 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

今松之運離松 日見の松 日見の松

親有自稱歲日啟 日見の松 日見の松

唐九彩艘始 日見の松 日見の松

行雲松花文状 日見の松 日見の松

松花之信松花文状 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

藤原公雲の采女 日見の松 日見の松

多松松花文状 日見の松 日見の松

船利松花文状 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

持松松花文状 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

大坂新松花文状 日見の松 日見の松

須藤松花文状 日見の松 日見の松

西保松花文状 日見の松 日見の松

西保松花文状 日見の松 日見の松

振袖松花文状 日見の松 日見の松

木下松花文状 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

以長松 日見の松 日見の松

世世接續世古歌

日蓮記以視

傾城篇了畢

高麗清平

金瓶梅

蒙古年紀

護國八帝

女而花

淨瑠璃手鑑

之

系標

嫩葉

荒涼

如之

他

樹

木

木

揚子江
都島東古
傾城篇了畢
高麗清平
金瓶梅
蒙古年紀
護國八帝
女而花
淨瑠璃手鑑
之

系標
嫩葉
荒涼
如之
他
樹
木
木

第一節 日本
 第二節 支那
 第三節 朝鮮
 第四節 南洋羣島
 第五節 西伯利亞
 第六節 蒙古
 第七節 西藏
 第八節 印度
 第九節 爪哇
 第十節 暹羅
 第十一節 安南
 第十二節 馬來半島
 第十三節 菲律賓
 第十四節 荷屬東印度
 第十五節 英屬東印度
 第十六節 法屬印度支那
 第十七節 葡屬帝力
 第十八節 葡屬帝力
 第十九節 葡屬帝力
 第二十節 葡屬帝力

